

## 第 62 回 探 花 会

日 程 平成 27 年 7 月 26 日 (日)  
行 程 ひまわりの里のぎひまわりフェスティバル  
野木町煉瓦窯

今回は、栃木県下都賀郡野木町界隈を探ってみました。



野木町煉瓦窯行きのバスに乗り込みました。途中にもヒマワリがあちこちにありました。ひまわりの里で降りると目の前にフェスティバル会場があり、背丈以上のヒマワリ畑がずっと広がっていました。

見晴らし台から見るヒマワリは、暑さを忘れさせてくれるかのように一面に広がっていて、全員がこちらをみているような錯覚に陥りました。  
。本線道沿いの木陰で昼食を摂り、ひまわりの里を後にして、バスの時刻に合わせ次の見学場所野木町煉瓦窯に向かいました。

### 本日の見学地概要

栃木県最南端の玄関口として位置し、ひまわりの里とレンガの町として知られる野木町は温暖な気候に恵まれる。

一部がラムサール条約登録湿地で日本最大の遊水地「渡良瀬遊水地」に面している。

ここのひまわりは、元来、食用油や種子を採るために植えられたものだが、観光・イベント用を含め 20 万本のひまわりが見られる。

第 24 回ひまわりフェスティバルは、7 月 24 日～26 日の間開催され、26 日には歌謡ショーも開かれる。迷路も登場する。

野木町の中で一番数が多いのは、ハイブリッド サンフラワー。

また、25 日・26 日には国指定重要文化財である野木町煉瓦窯の特別公開が催される。

名称は、旧下野煉化製造会社煉瓦窯といい、明治 23 年 6 月完成、昭和 54 年 2 月 3 日に指定された。

地盤より煙突頂上まで 34.67m、地盤面外周直径 33,00m。

日本で残存するホフマン窯は、昭和 26 年には全国で 50 基あったが、現在は 4 基のみ。

栃木県野木町のほか、埼玉県、滋賀県、京都府のもの。

滋賀県のもは、旧中川煉瓦製造所ホフマン窯。

ホフマン窯は、ドイツ人フリードリヒ・ホフマンが 1858 年開発した赤煉瓦焼成用の窯。

バスを降りやってきたのは、フェスティバルに合わせ 2 日間だけ特別公開されている野木町煉瓦窯。こちらはヒマワリ会場と違って周りは緑豊かな一画ですが、窯の中はまあまあの暑さながら見学の後半はかなり汗ばみましたが、明治の頃の作業者に思いを馳せれば、暑いなどとは言っておれないと悟りました。

それにしても、その頃の技術の高さや工夫が随所にみられ、それにまして良く保存されているものだと感じ入



りました。 猛暑のなか、全員熱中症の症状もなくホッとしたところでは。お疲れさまで